社会メディア学科

**基礎力＝「論理的思考力＋コミュニケーション力」を養成し、
社会のあらゆる問題に取り組む。**

現代社会の多様なコミュニケーションを、学術的な視点で研究。新たなメディアやシステムのデザイン・プロトタイプ作成を通じ、情報発見能力を身に付け、社会の諸問題の発見・分析・解決に取り組みます。

研究分野と学びの流れ

集大成として卒業研究に取り組む

4年次は卒業研究に取り組むことで、これまでの学びを集大成しうるとともに、社会に飛躍するための力を蓄えます。

研究室に所属し専門性を深める

1・2年次に身に付けた教養・基礎力を土台として応用科目を学びつつ、研究室で少人数指導を受けることで、教員や先輩と共に専門性を深めていきます。

教養・基礎や問題解決力を養う

1・2年次は教養・基礎や社会科学の物の見方、最新の情報テクノロジーについての理解を深めます。同時に、プロジェクト学修などを通して、課題を発見し多様な観点から解決策を考える、実践型の方法論を身に付けます。

4年次 / 3年次 / 2年次 / 1年次

卒業研究

研究分野〈2領域〉

ソーシャルデザイン分野 新たなメディアやコミュニケーションの場をデザイン・提案できる人材を育成する。

主な専門科目
- 情報環境論
- 社会情報デザイン
- メディア・プロデュース論
- メディア文化論
- 参加型デザイン論
- NPOとソーシャルビジネス
- メディアと表現
- 社会ネットワーク論
- 街づくり論

メディア・コミュニケーション分野 社会科学的な視点で調査・分析を行い、コミュニケーション面からの社会問題解決をめざす。

主な専門科目
- 自己理解とカウンセリング
- マスコミュニケーション論
- 異文化間コミュニケーション
- 産業組織心理学
- ジャーナリズム論
- 現代国際情勢
- メディアと政治
- リスクコミュニケーション
- 行動的意思決定論

教養・基礎科目

社会メディア学科の特徴

特徴1
最適な「学生／教員」比率による、きめ細かな指導。アカデミックな思考とコミュニケーション能力を育成します。

特徴2
教員間・学外の協働プロジェクトに、学年・研究分野を超えて参加することで、主体的・創造的・総合的な学修が可能になります。

特徴3
多様なメディアを用いて社会の諸問題の発見・分析・解決に取り組みます。新たなメディアやシステムのデザイン、プロトタイプ作成を通じ情報発見能力を身に付けます。

めざせる資格
- ●高等学校教諭一種免許状（情報）
- ●社会調査士
- ■ITパスポート

卒業後の進路は P.100へ▶

●…所定の単位を修得すると得られる資格（実務・研修・講習を含む） ■…めざせる資格 ▶教職課程・資格の詳細はP.81

4年間のカリキュラム

年次		専門基礎科目	専門科目 学科基盤科目	専門科目 学科専門科目［ソーシャルデザイン分野］	専門科目 学科専門科目［メディア・コミュニケーション分野］	専門科目 卒業研究関連科目
4年次	前期		主な卒業研究テーマ ●ピクトグラムの表現可能性の追求 ●クラウドファンディングをめぐる支援ネットワークの構築 ●ネットにおけるバズ・マーケティング ●変貌するメディア産業の分析（新しい放送産業、OTTの可能性） ●自動運転車開発の人類学的研究			卒業研究
	後期					事例研究・卒業研究では、各研究室で集中的に専門知識を学びます。
3年次	前期	情報の倫理	データ分析法 社会調査実習（通年） ヒューマンコンピュータインタラクション サーバシステム構築 サーバ管理演習	メディア・プロデュース論 NPOとソーシャルビジネス	リスクコミュニケーション 産業組織心理学	事例研究
	後期	情報政策論		街づくり論	行動的意思決定論	
2年次	前期	情報セキュリティ 情報と職業 情報と法	プロジェクト学習 社会メディア実験・測定演習 社会文化フィールドワーク インフォグラフィックスデザイン演習	メディアと表現＊ メディア文化論＊	ジャーナリズム論	
	後期	データベース キャリアデザイン 世界のメディア サイエンス・スタディーズ	社会調査設計 質的調査演習 ＬＡＮ環境演習 インタフェースデザイン演習 電子商取引論	参加型デザイン論 社会ネットワーク論 ★社会情報デザイン	異文化間コミュニケーション マスコミュニケーション論 現代国際情勢 メディアと政治	
1年次	前期	統計学基礎 現代国内情勢 基礎ゼミ 情報と社会 情報通信技術入門 情報リテラシー演習	基礎プログラミング演習1 現代社会とメディア			
	後期	社会調査	社会学概論 社会心理学概論 認知科学 応用統計 コンピュータシステム コンピュータグラフィックス 基礎プログラミング演習2 ★デザインシンキング	情報環境論	自己理解とカウンセリング	

授業PICK UP

★社会情報デザイン〈2年次〉

「50年後、100年後の生活とは？」「情報技術のさらなる可能性とは？」「これらの実現に必要な一歩とは？」座学とフィールドを通じて、これからの社会をデザインする方法を実践的に考えます。

授業PICK UP

★デザインシンキング〈1年次〉

カップラーメンの再デザインがテーマ。グループで学生自身をユーザーとしてラーメンを食べる状況や要望を調査し、学生に必要なラーメンのコンセプトを立てます。写真は最後に試作品をデザインしてプレゼンテーションしている様子です。

※上記のほか、教養科目、語学科目などの学部・学科共通科目を設置しています。詳細はP.75をご覧ください。
■字は選択科目 ■字は必修科目 ■字は選択必修科目

カリキュラムは平成29年4月現在のもので、一部変更される場合があります。
※右上に＊がついている科目はTAP履修制限科目です。

専門的に学べる研究室

- **岡部研究室**（フィールドワーク）
  フィールドワークを通し主体的な学びの環境がいかにデザインされているかを考察
- **川村研究室**（持続可能な社会）
  科学技術と人間社会の相互構成的な関係を解明する「現代社会の文化人類学研究」
- **小池研究室**（情報デザイン）
  フィールドワークやデザイン実践をしながら人間と環境の関係性について研究
- **関［博］研究室**（デザイン生態学）
  「つくること」と「つかうこと」の可能性を認知科学とデザインの知識で探る
- **高田研究室**（ジャーナリズム）
  調査報道の可能性と限界、取材過程分析、次世代型ジャーナリズム
- **中村研究室**（参加デザイン）
  人と情報技術の「もっといい関係」を実証的なデータをふまえてデザインする
- **広田研究室**（行動的意思決定）
  人間のさまざまな意思決定に対する影響要因を社会心理学の観点から調査・解明
- **矢吹研究室**（文化と発達家族心理学）
  「多文化」が共生する「国際結婚家族」をフィールドに生涯発達と文化構築を考察
- **山﨑研究室**（文化とコミュニケーション）
  人間、集団、文化の関係について、社会心理学的アプローチを用いて、実証的に探究していく
- **李研究室**（インターネットとマス・メディア）
  メディア、世論、ネット選挙を軸にメディアの役割・影響のダイナミズムを考察

研究の学び、研究室の内容は、 WEBをご覧ください▶